



Business Innovation Hub

デジタルビジネス革新&変革アプローチ「D-bit」

～ Digital Business Innovation & Transformation ～

D-bit（デービット）は、広く普及しているイノベーションのフレームワークをベースに、デジタル要素をビジネスモデルに組み込むための独自のアプローチを採用したソリューションのデザインに対する実践的かつシステムチックなアプローチです。当社は、お客様の新事業プロジェクトまたはビジネス研修におけるファシリテーションサービスを提供していきます。

D-bitを構成する中核的な概念

D-bitアプローチは、以下の中核的な概念を採用しています。

- **ビジネスモデル**：顧客に対して価値を生成／提供し、その対価としての金銭的な価値を獲得する方法の論理的根拠。
- **顧客のジョブと成果指向ベースのイノベーション**：人々は何らかのジョブを成し遂げると同時に、望ましい成果を実現するために特定のプロダクトやサービスを“雇う”というアプローチ。
- **価値提案**：プロダクトやサービスから顧客が受け取るベネフィットの全体像。究極的には、顧客がジョブを成し遂げるためにプロダクトやサービスを雇う理由。
- **デザイン思考**：顧客から得た洞察をベースに、仮説／プロトタイプを作成、テスト／検証を繰り返すことによってプロダクトやサービスをデザインするためのプロセス。
- **プラットフォーム**：顧客やパートナーを含む複数の利害関係者を結び付け、相互に価値を交換するために構築される知的リソース。

デジタルビジネスの3つの類型と6つの中核テクノロジー

デジタルビジネスは大きく3つの領域に分類することができます。

- **ヒトとヒト**を結び付けるサービス（例、共同消費）
- **ヒトとモノ**を結び付けるサービス（例、モノのインターネット化）
- **モノとモノ**を結び付けるサービス（例、マシンツーマシン）

これらのサービスを支えるための主要なテクノロジーは..

- **モバイルコンピューティング**
- **ソーシャルメディアネットワーク**
- **クラウド**
- **センサー／位置情報**
- **ビッグデータとアナリティクス**

これらのテクノロジーは全て、顧客が特定のジョブを履行する際の制約（金銭、スキル、時間、アクセスなど）を克服するための手段として活用することができるポテンシャルをもっています。

デジタルビジネスに対するベストプラクティス

- フィジカルとデジタルの世界を融合したプラットフォームを構築し、時間や場所の制約なく顧客と接触する機会を増やすこと。
- 顧客の中核的および周辺のジョブの履行に手を差し伸べるための新たなサービスを提供するとともに、顧客との交流を増やすこと。
- 顧客に対する価値を最大化するために、パートナーとのエコシステムを構築し、オープンイノベーションを促進すること。
- デジタルサービスを付加することによって、成長エンジンとしての新たな収益モデルを構築すること。

D-bitによって提供されるもの

- プロジェクトを円滑に進めていくための標準テンプレート
- ビジネスモデルキャンパス、デジタルサービスキャンパス、ジョブマップをはじめとするビジネスデザインを可視化するためのツール
- アイディアを促進するためのデジタルビジネスモデルのパターンおよび事例ケース

D-bitアプローチにおける5つのステージ

